

研究協力者一覧（五十音順、敬称略）

青木 茂樹（順天堂大学）
新井 一（順天堂大学）
飯島 佐知子（順天堂大学）
宇野 漢成（東京大学）
片岡 留那（東京大学）
鎌形 康司（順天堂大学）
久保 貴俊（東京大学）
佐上 徹（東京警察病院）
佐野 由起子（順天堂大学）
新本 弘（防衛医科大学）
鈴木 通真（順天堂大学）
曾我 茂義（防衛医科大学）
富澤 信夫（新東京病院）
中上 将司（GE ヘルスケア）
能城 毅（新東京病院）
萩原 彰文（順天堂大学）
藤本 進一郎（順天堂大学）
堀 正明（順天堂大学）
本田 浩（九州大学）
前田 恵理子（東京大学）
待鳥 詔洋（国立国際医療研究センター）
八坂 耕一郎（東京大学）
山下 康行（熊本大学）
山本 晃大（関東労災病院）
李 慶賢（順天堂大学）

目次

I．総括研究報告

1．研究背景	
1) 画像検査の適応とは	3
2) 画像検査の施行閾値の低下	4
3) 米国の画像検査のガイドライン	5
2．研究目的	6
3．研究方法	7
4．研究結果	
1) 米国と日本の検査機器状況の差異	8
2) 米国と日本の主要疾病頻度の差異	13
3) ACR Appropriateness Criteria の日本への適用可能性	14
A) 心血管画像	15
B) 腎・泌尿器疾患画像	44
C) 脳神経画像	73
D) その他	108
5．考察	117
6．結論	119
7．健康危険情報	119
8．研究発表	119
A. 論文発表	119
B. 学会発表	119
9．知的財産権の出願・登録状況(予定を含む)	119